

週間漁海況情報—第28号

平成28年7月19日

内容は水産研究課ホームページでも公開しています。
更新は、原則として火曜日夜間におこないます。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

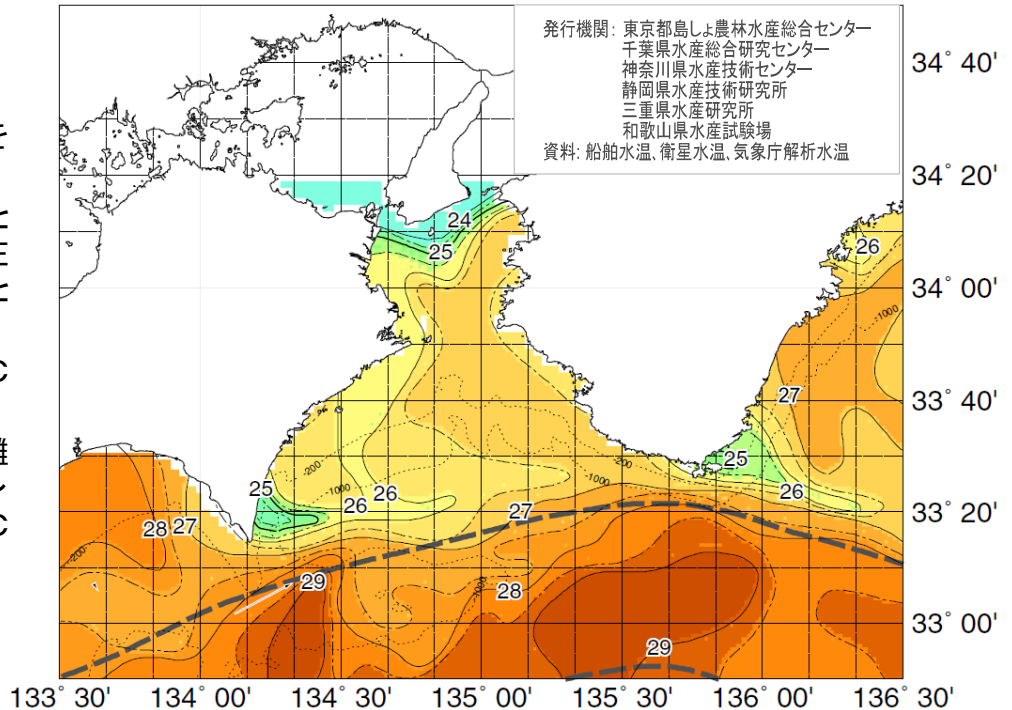
1. 周辺海域の水温

右に7月19日時点の海況図を示した。

黒潮は、室戸岬沖では「接岸」と「やや離岸」で微動しており、現在「接岸」、潮岬沖も同様に「接岸」となっている。

黒潮本流の表面水温は、27℃台～29℃台である。

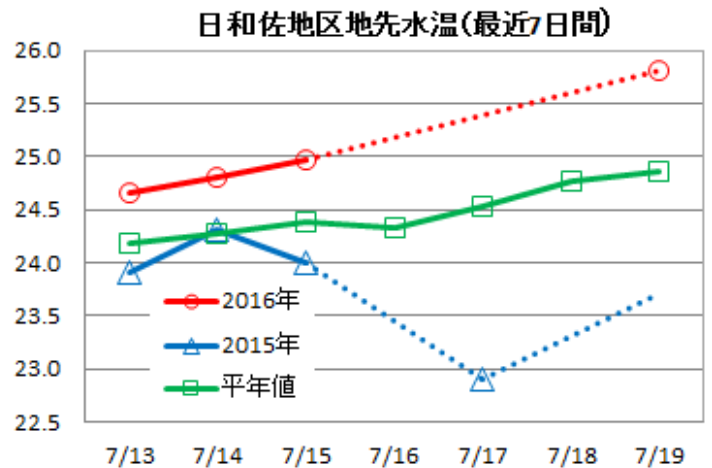
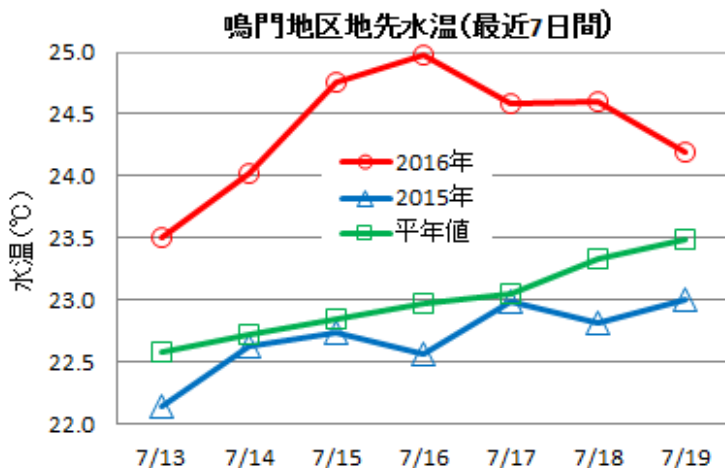
徳島沿岸の表面水温は播磨灘で23℃台、紀伊水道で24℃～26℃台、海部沿岸で25℃～26℃台である。



海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温

最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」～「高め」の23.5℃～25.0℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の24.7℃～25.8℃、牟岐地区は「平年並み」～「高め」の24.1℃～26.6℃であった。鳴門地区は前半で急上昇したのち降下、牟岐地区は期間通じておおきく上昇した。日和佐地区は16日、17日、18日欠測。



※水温の高低

平年並：平年値±0.5℃未満， やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満， かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値

鳴門地区：1981年～2015年の平均値、日和佐地区：1982年～2015年の平均値
牟岐地区：1991年～2015年の平均値

3. 週間予報

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも離岸傾向が予測され、「接岸」のち「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地区は「やや高め」の24℃台後半、日和佐地区は「やや高め」～「高め」の25℃台後半～26℃台で推移する見込み。

漁況 7月11日～7月17日

1. 紀伊水道(標本漁協:3)

全体の漁獲量は増えた。

船びき網では、出漁日数と1隻当たり漁獲量がともに増えて、シラスが50.4ト水揚げされた。

釣りでは、イサキが減って大主体に0.3ト、タチウオが前週並みの0.2ト、水揚げされた。

延縄では、ハモ、タチウオがともに増えて、それぞれ9.6ト、3.0ト水揚げされた。

小型定置網では、イサキが引き続き増えて1.0ト、マアジが減って豆あじ主体に0.3ト、ゴマサバが増えて大主体に0.3ト水揚げされた。

底びき網は出漁日数が少なく、ハモが減って5.4ト水揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協:4)

全体の漁獲量は前週並み。

釣りでは、まぐろ類が0.4ト水揚げされた。

延縄では、アカムツが前週並みの0.8ト水揚げされた。

小型定置網では、マイワシが大きく増えて3.0ト、カンパチが大きく増えて0.5ト、ウルメイワシが大きく減って0.3ト水揚げされた。

大型定置網は今期の漁を終了している。

漁獲量集計表(漁獲が0.2ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	115	シラス	50,375	438		↗
	釣り	21	イサキ	282	13	大主体	↘
		46	タチウオ	206	4	特大主体	→
	延縄	100	ハモ	9,577	96	中主体	↗
		97	タチウオ	3,018	31	特大主体	↗
	小型定置網	18	イサキ	970	54		↗
		14	マアジ	321	23	小小主体	↘
		10	ゴマサバ	311	31	大主体	↗
		12	アイゴ	219	18		↗↗
	底びき網	50	ハモ	5,410	108	中主体	↘
海部沿岸	釣り	85	まぐろ類	445	5		↗↗
	延縄	36	アカムツ	839	23		→
	小型定置網	9	マイワシ	3,002	334		↗↗
		3	カンパチ	505	168		↗↗
		7	ウルメイワシ	276	39		↘↘

※ 前週比 200%以上:↗↗、120%～200%:↗、80%～120%:→、50%～80%:↘、前週比50%未満:↘↘